



2021年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年6月11日

上場会社名 REVOLUTION

上場取引所 東

コード番号 8894 URL <https://revolution.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 貴文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 津野 浩志

TEL 083-229-8894

四半期報告書提出予定日 2021年6月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第2四半期の連結業績(2020年11月1日～2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	594		170		190		163	
2020年10月期第2四半期								

(注) 包括利益 2021年10月期第2四半期 162百万円 (%) 2020年10月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	0.52	0.24
2020年10月期第2四半期		

(注) 当社は2020年10月期第3四半期から連結財務諸表を作成しているため、2020年10月期第2四半期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期第2四半期	2,160	1,568	72.6	3.92
2020年10月期	1,994	1,406	70.5	4.77

(参考) 自己資本 2021年10月期第2四半期 1,568百万円 2020年10月期 1,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期		0.00		0.00	0.00
2021年10月期		0.00			
2021年10月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,124	47.3	167		225		191		0.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期2Q	400,000,510 株	2020年10月期	294,692,398 株
期末自己株式数	2021年10月期2Q	4,161 株	2020年10月期	4,141 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期2Q	313,888,074 株	2020年10月期2Q	193,809,185 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨秋から新型コロナウイルス感染症の感染拡大が進み、その後落ち着き始めたものの、4月頃から第4波が発生したとして一部の都道府県では緊急事態宣言が発令され企業活動や個人消費活動が制限される等、終息の見通しは立っておらず、先行きが不透明な状況となっております。

当社グループに係る不動産業界及び投資業界においても、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されており、先行きは不透明な状況です。

このような状況下、不動産事業においては、「住」を支える企業として感染症対策を施しながら積極的な営業活動を行いました。また、投資事業においては、投資案件の検討及び投資実行、保有する上場会社新株予約権の行使し、市場での売却を進めました。また、継続的に営む予定はないスポットな事業として、いわゆる兄弟会社から業務の委託を受けたことで業務受託報酬を受領いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は5億9千4百万円、営業利益は1億7千万円、経常利益は1億9千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億6千3百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不動産事業

不動産の売買仲介については、収益物件や中古住宅の仲介案件を中心に契約、引き渡しを進めました。固定資産の賃貸物件売却契約締結、再生再販物件の仕入れが進捗し、下半期での売却を見込んでおります。また、当第2四半期連結会計期間は賃貸業界の繁忙期にあたるため賃貸住宅の斡旋に注力しました。新型コロナウイルス感染症の拡大はあるものの必要なお客様へ住居の斡旋・提供を進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億7千万円、営業利益は9千7百万円となりました。

② 投資事業

当第2四半期連結会計期間において、SDGsの達成や社会課題の解決に取り組む個人や組織間のヒト・カネ・情報の循環を支える連携支援プラットフォーム等の展開を目指すICHI COMMONS(株)に対して投資を実行し、これまでの投資実績は4件となりました。そのうち、(株)フルッタフルッタに関しては新株予約権を適宜行使し、市場の動向を鑑みながら売却を進めております。金地金寄託事業は、寄託内容や業者との提携検討等の準備を完了し、営業活動をスタートいたしました。また、投資運用業、投資助言代理業開始に向け、関東財務局に対して申請手続きを提出し、質疑応答を進めており、今期中の許認可を目指しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億2千4百万円、営業利益は2億5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は8億円となり、前連結会計年度末に比べて2億1千3百万円増加しました。その他の増加1億9百万円、営業投資有価証券の増加7千8百万円が主な要因であります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は13億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて4千5百万円減少しました。投資有価証券の減少4千万円が主な要因であります。

③ 繰延資産

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産は6百万円となり、前連結会計年度末に比べて2百万円減少しました。株式交付費の減少2百万円が要因であります。

④ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3億3千万円となり、前連結会計年度末に比べて2百万円増加しました。未払法人税等の増加2千9百万円が主な要因であります。

⑤ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は2億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて0百万円増加しました。長期預り敷金保証金の増加7百万円が主な要因であります。

⑥ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は15億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億6千2百万円増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は21億6千万円となり、前連結会計年度末に比べて1億6千5百万円増加しました。

⑦ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、5億5千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは1億4百万円の収入となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の計上1億9千万円などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは3千1百万円の支出となりました。これは、主として投資有価証券の取得による支出2千万円などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは0百万円の支出となりました。これは、主として長期借入れによる収入1億9千万円、長期借入金の返済による支出1億9千万円などによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の連結業績予想につきましては、2021年4月7日付の「2021年10月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した連結業績予想から変更はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間において営業利益は公表しております予想数値を超えておりますが、投資事業において株価変動等の不確定な要素があるため据え置いております。今後、業績予想を修正する必要がある場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	455,540	423,454
営業未収入金	12,861	7,616
営業投資有価証券	50,158	128,345
商品	246	337
販売用不動産	27,014	91,325
未成工事支出金	5,431	4,269
その他	35,814	144,815
貸倒引当金	△21	△16
流動資産合計	587,046	800,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	653,133	641,894
車両運搬具（純額）	3,798	2,918
工具、器具及び備品（純額）	7,810	10,622
土地	633,480	633,480
有形固定資産合計	1,298,222	1,288,915
無形固定資産		
ソフトウェア	4,952	7,357
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	9,218	11,623
投資その他の資産		
投資有価証券	50,169	10,098
出資金	950	950
破産更生債権等	207,039	206,859
敷金及び保証金	40,380	42,180
貸倒引当金	△207,039	△206,859
投資その他の資産合計	91,500	53,228
固定資産合計	1,398,941	1,353,767
繰延資産		
株式交付費	8,826	6,178
繰延資産合計	8,826	6,178
資産合計	1,994,814	2,160,094

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	16,908	14,142
1年内返済予定の長期借入金	6,884	11,333
未払金	12,068	11,262
未払法人税等	10,038	39,631
借入有価証券	50,158	70,868
預り金	94,149	99,188
賞与引当金	8,870	8,350
前受収益	93,355	55,867
その他	35,140	19,358
流動負債合計	327,572	330,002
固定負債		
長期借入金	182,657	178,014
退職給付に係る負債	19,712	17,397
長期預り敷金保証金	55,133	62,564
その他	3,702	3,299
固定負債合計	261,205	261,275
負債合計	588,778	591,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,287,878	1,287,878
資本剰余金	1,385,632	1,385,632
利益剰余金	△1,272,011	△1,108,703
自己株式	△1,968	△1,969
株主資本合計	1,399,530	1,562,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,504	5,979
その他の包括利益累計額合計	6,504	5,979
純資産合計	1,406,035	1,568,816
負債純資産合計	1,994,814	2,160,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)
売上高	594,647
売上原価	254,540
売上総利益	340,106
販売費及び一般管理費	169,650
営業利益	170,456
営業外収益	
受取利息	1
貸倒引当金戻入額	185
業務受託収入	64,111
その他	1,218
営業外収益合計	65,516
営業外費用	
支払利息	2,558
業務受託費用	39,512
株式交付費償却	2,647
為替差損	42
その他	391
営業外費用合計	45,153
経常利益	190,819
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	190,819
法人税、住民税及び事業税	27,511
法人税等合計	27,511
四半期純利益	163,307
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,307

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	163,307
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△525
その他の包括利益合計	△525
四半期包括利益	162,781
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	162,781
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	190,819
減価償却費	16,485
新株発行費償却	2,647
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△185
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△520
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,315
受取利息及び受取配当金	△1
支払利息	2,558
固定資産除却損	0
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△22,900
借入有価証券の増減額 (△は減少)	20,710
売上債権の増減額 (△は増加)	5,244
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△63,239
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,765
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	7,430
前受収益の増減額 (△は減少)	△37,487
その他	△7,826
小計	108,654
利息及び配当金の受取額	1
利息の支払額	△2,618
法人税等の支払額	△1,925
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△6,196
無形固定資産の取得による支出	△3,386
投資有価証券の取得による支出	△20,000
敷金及び保証金の差入による支出	△1,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	190,000
長期借入金の返済による支出	△190,193
自己株式の取得による支出	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△194
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72,535
現金及び現金同等物の期首残高	480,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	552,947

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第2四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業			
売上高					
外部顧客への売上高	370,231	224,416	594,647	—	594,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	370,231	224,416	594,647	—	594,647
セグメント利益	97,293	205,383	302,676	△132,220	170,456

(注) 1 セグメント利益の調整額△132,220千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。